

浅間山の噴火警戒レベルの引き下げにあたって

本日、気象庁より、浅間山の噴火警戒レベルを2から1に引き下げるとの発表がありました。本年3月23日に火山活動の高まりによりレベルが2に引き上げられて以来、約4ヶ月ぶりのレベル引き下げとなり、浅間山と共存している私たち地域にとって明るいニュースとなりました。また、長く続くコロナ禍の中、明るい話題に喜びと希望を感じております。

これまで日々火山活動の観測にご尽力いただいている気象庁をはじめ関係機関の皆様に対しまして、あらためて感謝と御礼を申し上げます。

レベルの引き下げに伴い、警戒対策本部会議において、登山規制の緩和を決定しました。明日8月7日から火口より概ね500mにある前掛山の山頂まで登山が可能になります。

一方で、1都5府県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出され、県内においても感染が急速に拡大している状況にありますので、下記事項にご留意いただくなど万全の準備で、浅間連峰の大自然をお楽しみいただきたいと思います。

登山の際には、必ず登山計画書を提出していただくとともに、登山中は活火山であることを常に意識してください。

また、十分な体調管理を心がけていただき、気象情報や小諸市防災情報メール配信サービスなどによる情報収集も忘れずをお願いします。なお、現在は雷を伴う夏山特有の急激な天候の変化などがあること、コロナ禍において万が一の遭難時でも救助対応が難しい状況であることにもご留意ください。

浅間山は、豊かな恵みを与える一方、これまで時として災いももたらしてきましたが、山麓に暮らす私たちにとっては郷土の誇りであり、大切な観光資源であります。

私たちは、これまでも、そしてこれからも浅間山と共生してまいります。

令和3年8月6日

小諸市長 小 泉 俊 博